

# ま い ぶ



平塚市図書館  
HIRATSUKA CITY LIBRARY

第41号

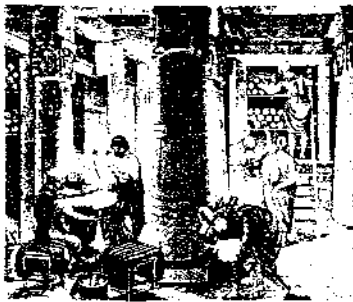
平塚市中央図書館	〒254-0041	平塚市浅間町12-41	TEL 0463(31)0415
平塚市北図書館	〒254-0013	平塚市田村5155-1	TEL 0463(53)1232
平塚市西図書館	〒254-0911	平塚市山下760-3	TEL 0463(36)3555
平塚市南図書館	〒254-0813	平塚市袖ヶ浜20-1	TEL 0463(21)3080

## いよいよ2000年・・・ 図書館の歴史をふりかえってみよう!



### ～古代～ 2700年前に図書館があった!

遺跡に残る最古の図書館は、紀元前7世紀、アッシリアの都ニネベの王宮図書館です。また、紀元前3世紀、エジプトのアレクサンドリアにあった図書館は、70巻もの蔵書があり、目録も作られていたそうです。



### ～中世～ 本は鎖でつながれていた

中世ヨーロッパの図書館は、キリスト教の教会を中心に発達しました。修道院には、修業の場として写本室が設けられ、そこで修道士たちはいろいろな文献を書き写しました。このころの本は、たいへん貴重なものだったため、棚や書見台に鎖でつながれていました。



### ～日本では～

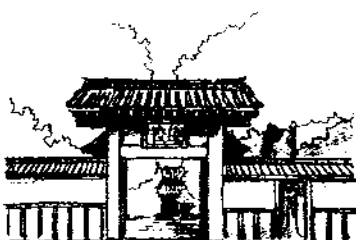
### 1200年前から図書館があった

日本では、奈良時代末期に<sup>いものかのうか</sup>石上宅嗣がつくった「<sup>あき</sup>笠亭」が、最初の公開図書館だといわれています。また、鎌倉時代以降、武士のための図書館として、足利学校や金沢文庫がつくられました。足利学校には、「資料をまた貸してはいけない」「資料を墨でよごしたり指をなめて開いてはいけない」などの閲覧規定もありました。

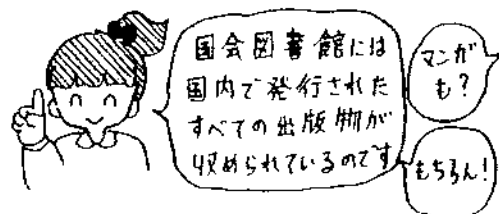
### ～そして、現代～

### 誰でも自由に使える図書館へ

戦後の民主主義のもとで、日本の図書館は新しい発展をとげました。1948年、アメリカの議会図書館にならって国立国会図書館が設立し、1950年4月30日には図書館法が公布されました。これを記念して、この日は「図書館記念日」に定められています。



足利学校



# ☆☆☆クリスマス関連の資料☆☆☆

## ● 一般書

◎「花のサークル・リース」

花のサークルリース



櫻井 忍, ペル・シュメルシュア / 著 文化出版局  
クリスマスは、リース作りに挑戦するにはスタートシーズン。お正月の玄関や太陽照りつける真夏の窓辺でも・・・一年中楽しむことを提案した本です。

◎「クリスマスの思い出」

クリスマスの思い出



トルマン・ガーティ / 著  
村上春樹 / 訳  
山本容子 / 銅版画  
文藝春秋

人の抱く自然な情愛や生の本来の輝きをみせてくれる一冊です。銅版画も一見に値する。

◎「小さなサンタクロース」

堀内貴和 / 著 東京書籍

◎「金田一耕助の冒険 悪魔の降誕祭 (クリスマス)」

カドカワカセットブック 横溝正史 / 著

## ● ビデオ

◎「クリスマスに雪はふるの?」

サンドリス・ヴェイテ / 監督

ワーナー・ホームズ / 発売

(日本語吹替版)

◎「ホワイト・クリスマス」

パラマウント映画

マイケル・カーティス / 監督

(字幕スーパー)



## ● こどもの本

◎「ごろごろどっしーん」

西内ミナミ / 文

山内ふじ江 / 絵

福音館書店

ごろごろどっしーん



あしたはクリスマス。りりこちゃん、かあさんにたのまれて山の下のおばあちゃんのうちへジュースを届けにでかけました。

ところが、ジュースのびんは、ころん・・・雪の坂

道を転がりだして・・・

◎「サンタクロースっているんでしょうか?」中村妙子 / 訳

偕成社

サンタクロースっているんでしょうか?

YOSHINO MIYOKO



「サンタクロースっているんでしょうか?」今からほぼ100年前、8歳の少女がある新聞社へ質問の手紙をかきました。そしてそれにぴたりと答えてくれた人がいたのです。

さあ、サンタクロースって、本当にいるんでしょうか・・・?

◎「ながれぼしをひろいに」

筒井頼子 / 著 福音館書店

◎「子うさぎましろのお話」

佐々木たづ / 著 ポプラ社

## ● 紙芝居

◎「サンタクマーズがこないわけ」

教育画劇



クリスマスの朝。どうぶつ村の子どもたちのところには、サンタさんがきませんでした。どうしたんだろう、もしかして病気なの?

◎「もりのクリスマスパーティー」

童心社

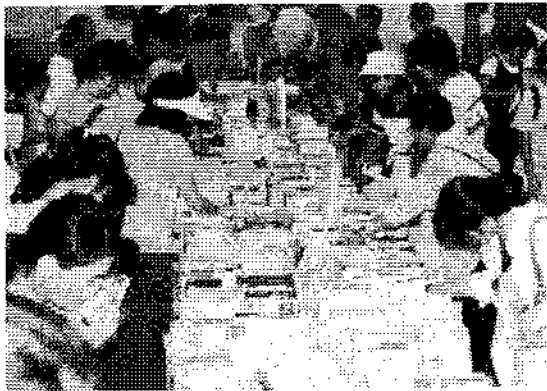
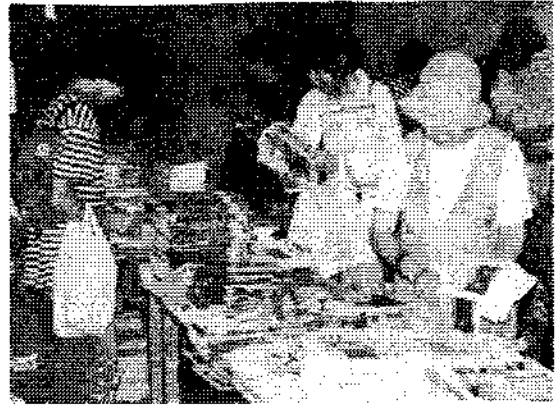
◎「クリスマスなんかだいきらい」

教育画劇

# ご来場ありがとうございました

## 第2回本のリサイクル・フェア開催

中央図書館では去る9月30日(木)に第2回本のリサイクル・フェアを開催しました。当日は月末の休館日にあたり館内の1階と3階を会場に約1800人もの方に集まいただきました。図書館で不用になった図書・雑誌・寄贈された資料を一人10冊までお持ち帰りいただきました。



用意したリサイクル本は、所蔵の期間が過ぎた本や汚れや傷みがひどくなった本で一般書・児童書合わせて約27000冊。中にはベストセラ―になった本や写真集などの掘り出し物もあったようです。

図書館では来年からもこのような本のリサイクルイベントを行っていきたいと思っています。



## 冬休みこども人形劇のお知らせ



### ☆中央図書館☆

### ☆南図書館☆

演目 「きんのガチョウ」  
日時 平成12年1月7日(金)  
・午前10時30分から  
・午後2時30分から  
(2回公演)

演目 「びんぼう神とふくの神」  
日時 平成12年1月6日(木)  
・午前11時から  
・午後1時30分から  
(2回公演)

場所 中央図書館3階ホール

場所 なぎさふれあいセンター  
2階集会室

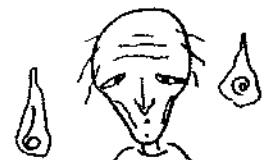
\*整理券を開演20分前に、中央図書館玄関ホールにて配布します。

(各先着130名)

\*入場無料

\*整理券を開演20分前に、なぎさふれあいセンター2階ロビーにて配布します。(各先着100名)

\*入場無料



# 特別整理期間のお知らせ

2月は図書の整理点検のため、月曜日と月末以外にも休館になる日があります。

## 図書館カレンダー 2000年 2月

○が開館日、×が休館日

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
中央図書館	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
北図書館	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×
西図書館	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×
南図書館	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×

中央図書館 2/14(月)から2/25(金) 北図書館 2/2(水)から2/9(水)  
 西図書館 2/16(水)から2/23(水) 南図書館 2/2(水)から2/9(水)が  
 休館となります



## 書庫探訪 第17回

今回は中央図書館の書庫です。  
 『おせち料理 和風・洋風・中国風』  
 本谷 敏子 / 著 (分類 596.4)

お正月の料理といっても作り方は様々。伝統的なメニューから洋風・中国風にアレンジした一品までを紹介しています。また、図書館にはおせちに限らず和・洋・中をはじめお菓子やお弁当料理など分野別の本もおいでありますよ。



## 年末年始休館日のお知らせ

中央図書館

北図書館

西図書館 は

南図書館

12月27日(月)

～1月4日(火)

まで休館となります

## ○利用統計

個人貸出状況(平成11年度4月～10月)

区 分	中央図書館	北図書館	西図書館	南図書館	自動車文庫	合 計
入館者数(人)	264 129	109 262	139 097	70 336	-	582 824
貸出点数(点)	333 515	138 866	242 090	235 672	28 388	978 531
登録者数(人)	53 955	10 628	15 254	8 580	5 930	94 347

## ○資料統計

蔵書数(平成11年10月末現在)

	中央図書館	北図書館	西図書館	南図書館	自動車文庫	合 計
図 書(冊)	309 428	111 562	140 640	103 509	39 509	704 648
うち児童書(冊)	57 106	41 331	62 153	37 407	18 159	216 156

視聴覚資料(平成11年10月末現在)

16ミリ映画フィルム	609本
CD(コンパクトディスク)	18 708枚
ビデオテープ	17 674本
LD(レーザーディスク)	1 501枚



## 編集後記

今回のきいぶは

『調べ学習にやくだつ図書館シリーズ』(ポプラ社)  
 『イラスト写真日本まるごと情報絵地図』(学習研究社)  
 『日本大百科全書』(小学館)  
 『ブリタニカ国際大百科事典』(TBSブリタニカ)

などの本を参考につくりました。興味のある方は、ご覧ください。